

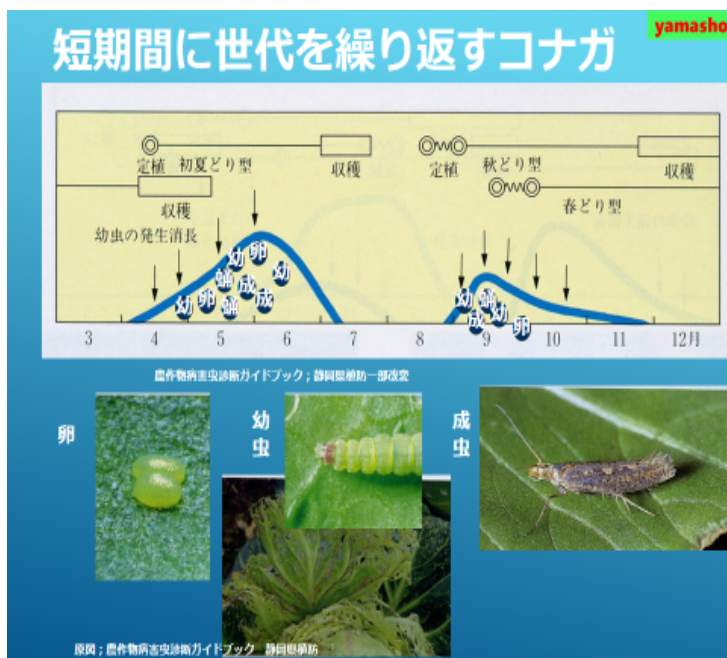
§1 秋植え野菜の病害虫防除対策

9月に入ると、秋冬に収穫する野菜類に対する病害虫対策の重要な時期を迎えます。旧盆前後に播種したり定植したりする秋野菜類は、10月の収穫開始時期まで長期間にわたって病害虫にさらされることとなります。アブラナ科野菜のコナガやアオムシ等の鱗翅目害虫には特別な注意が必要です。

今回はコナガの防除が困難な理由と、その対策について紹介したいと思います。

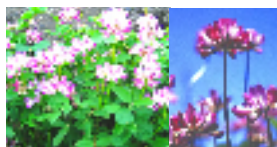
右の図はキャベツにおけるコナガの年間の発生消長を模式的に示したものです。コナガが全国的に防除の難しい害虫となっている理由としては、

- ① 年間の発生回数が多い。(東海地方では年10世代以上、北陸地方では5~6世代あります。)
- ② 成虫、卵、幼虫、蛹などの各世代には、世代ごとに有効薬剤が異なることが多い。
- ③ 使用頻度の高い殺虫剤に抵抗性が発達する。
- ④ 場合によっては、使用した殺虫剤が天敵の昆虫を殺してしまうことによる、いわゆる“リサーチェンス”(薬剤防除するとかえって発生が多くなる現象)が起こることが挙げられます。



コナガは難防除害虫として知られているので、発生初期に効果の高い薬剤を処理することが基本です。また成虫の飛び込みと集中産卵、雑草が繁茂している圃場に幼虫が多発しやすく、被害が誘発されやすいので、このような状況を事前に察知し、常発地では防除指導機関や農薬小売店などが推奨する有効薬剤を選び、播種時や定植時に処理してください。また、生育期に成虫の飛び込みがあり多発しそうになったら薬剤散布をしっかりと行ってください。

次ページには秋野菜に使用できる代表的な薬剤をまとめて示しましたので防除の参考にさせていただきたいと思います。



株式会社山正は、農薬・肥料・園芸ハウス・農業資材等の販売や、それに伴う農地・緑地・街路樹等のメンテナンス業務を通じ、地域農業や地域の環境緑地化への貢献を目指しています。



主要秋野菜の基幹病害虫防除薬剤

作物	キャベツ		ハクサイ				ブロッコリー				ダイコン				備考						
	アオムシ	コナガ	ヨトウムシ	アブラムシ	べと病	軟腐病	アオムシ	コナガ	ヨトウムシ	アブラムシ	軟腐病	菌核病	黒腐病	キスジノミハムシ		アオムシ	コナガ	ヨトウムシ	アブラムシ	白斑病	軟腐病
<セル成型&ペーパーポット施用>																					
プレバソフロアブル5	○	○	○				○	○	○												
ベリマークSC	○	○	○	○			○	○	※	○											※ハスモンヨトウでの登録
<全面土壌混和、植穴施用>																					
ブリロッソ粒剤	○	○		○						○					○	○		○			
(有機リン系)																					
サイアノックス乳剤	○	○	○	○			○	○	○						○	○	○	○			
<合成ピレスロイド系>																					
アデオシオン乳剤	○	○	○	○			○	○	○		○				○	○	○	○			
スカウトフロアブル	○	○	○	○			○	○	○							○					
<IGR系(脱皮阻害剤)>																					
カスケード粒剤	○	○	○				○	○	○												
マッチ乳剤	○	○	○				○	○							○	○					
(ネライストキシン系)																					
バダンSG水和剤	○	○		○			○	○	○						○	○		○			
<BT剤>																					
ゼンターリ顆粒水和剤	※	※	※				○	○	○							※	※	※			※野菜類での登録
(ネオニコチノイド系)																					
モスピラン粒剤	○	○		○			○	○	○						○		○				
アルバリン粒剤	○	○		○			○	○	○					○							
ダントツ粒剤	○	○		○			○	○	○												
モスピラン顆粒水溶液	○	○		○			○	○	○						○	○	○	○			
(マクロライド系)																					
アニキ乳剤	○	○	※				○	○	※						○	○					※ハスモンヨトウでの登録
アフーム乳剤	○	○	○				○	○	○						○	○					
(スピロシン系)																					
スピノエース顆粒水和剤	○	○	○				○	○	○						○	○					
ティアナSC	○	○	○				○	○	○						○	○					
(ジアミド系)																					
ベネビアOD	○	○	○	○			○	○	○		○	※	○			○	○	○			※ハスモンヨトウでの登録
フェニックス顆粒水和剤	○	○	○				○	○	○						○	○					
プレバソフロアブル5	○	○	○				○	○	○						○	○	○				※ハスモンヨトウでの登録
(その他の系統)																					
コテツフロアブル	○	○	○				○	○	○						○	○					
ハチハチ乳剤	○	○		○			○	○	○						○	○	○	○			
プレオフロアブル	○	○	○				○	○	○						○	○	○				※ハスモンヨトウでの登録
トランスフォームフロアブル new				○														○			
ファインセーブフロアブル new	○	○					○								○						
アフェットフロアブル													○								
スターナ水和剤													○								○
バリダシ液剤5																					○
アミスター20フロアブル									○												
ストロビーフロアブル									○												
Zボルドー					○	○							○	○							○野菜類での登録
パレード20フロアブル new							○							○							
クプロシールド new					※	○				※	○										※※野菜類での登録

黄色の枠内の商品は、今年に新発売されたものになりますので簡単にご紹介させていただきます。

トランスフォームフロアブルは、アブラムシ、コナジラミ、カイガラムシ等の吸汁害虫に高い活性を示します。秋野菜はもちろん、春野菜のキュウリ、トマト、果樹のりんご、なし、かんきつの登録が現在あります。

ファインセーブフロアブルは、7月号の山正ニュースにてご紹介しましたが、アザミウマに対して非常に高い活性があります。抵抗性の発達したコナガにも活性が認められています。

パレード20フロアブルは、新しい有効成分を配合した浸達性、移行性に優れた殺菌剤です。灰色かび、うどんこ病、菌核病等に活性があります。果樹(かんきつ、りんご、なし等)にはパレード15フロアブルが発売されています。

クプロシールドは、野菜類に登録がある無機銅フロアブル剤です。フロアブルなので、使いやすく、従来の無機銅剤に比べて汚れが軽減しています。収穫前まで(茶を除く)使用ができ、使用回数に制限がないので汎用性の高い剤です。